



Phaethon



Jupiter



Ganymede

たん さ
探査しよう!
宇宙科学探査交流棟



Itokawa



Ryugu



Phobos



Mars



Deimos



Earth

Sagamihara



Moon

SHIOLI



Mercury



さがみはら

JAXA相模原キャンパスへようこそ

うちゅうかがくたんさこうりゅうどう

ここは2018年にオープンした「宇宙科学探査交流棟」です。

館内 マップ



いろいろなミッションを^{てんじ}展示で^{しょうかい}紹介しています。

番号をたよりに、^{さが}探してみよう。



2



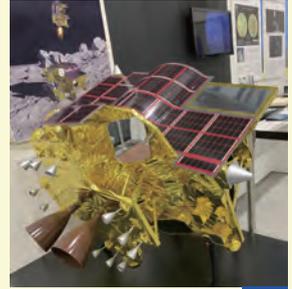
長野県佐久市にできた
新しい地上局のアンテナ

6



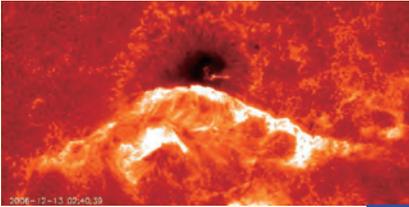
火星^{えい}衛星^{てんさ}探査^さ計画^{けい} (MMX)
でめざす火星の衛星フォボス

7



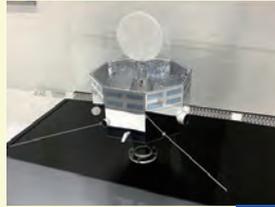
降りたいところへ降りる！
開発中の月着陸機^{ちやくりく} SLIM

8



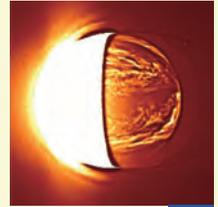
「ひので」がとらえた太陽フレア

9



2025年の水星^{とう}到着^{とく}を
めざして航行中の「みお」

9



「あかつき」が
とらえた金星の雲

9

！^{てんじ}展示内容は^{よこ}予告なく^か変わる場合があります。

^{てんじ}展示ゾーンをじっくり、ゆっくり、めぐってみよう。

^{じゆん}順番は自由です。スタンプラリーもできますよ。

^{てんじ}展示ゾーン

1 ^{うちゅう}宇宙科学のあゆみ

5 ^{けん}大気圏突入技術^{とつにゅうぎじゆつ}

9 ^{わく}太陽と惑星環境^{かんきょう}

2 ^ゆロケット・宇宙輸送

6 ^{かんせい}運用・管制

10 ^{かんそく}天文観測

3 ^{てきちようせん}工学的挑戦

7 ^{たんさ}始原天体探査

★ ^いイノベーション
(宇宙探査イノベーションハブ)

4 ^{かんそく}観測ロケット・大気球

8 ^{たんさ}月・火星探査

☆ ^{てんじ}屋外展示

さ が し て み よ う

小惑星から持ち帰った物質（実物）

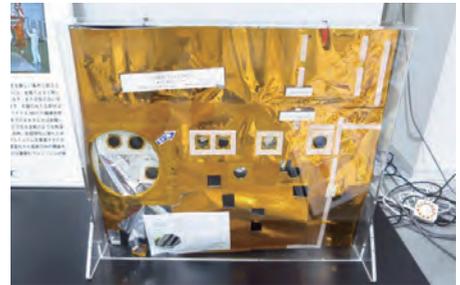
「はやぶさ」のカプセルには小惑星イトカワの微粒子が入っていました。小さな砂粒ですが、人類が初めて月よりも遠い天体の表面から持ち帰った地球外物質です。「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウの砂も展示しています。



イトカワの微粒子

実際に宇宙へ行ったもの

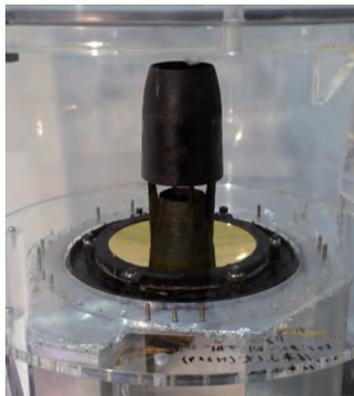
宇宙空間から地球へと戻ってきたものがあります。宇宙空間での実験や観測に使われた機器や、機体の一部など、回収された実物を展示しています。



宇宙空間にさらされて表面が変化した熱保護膜



スペースシャトルに搭載した高感度カメラ



日本で最初の宇宙望遠鏡 IRTS の鏡



大気圏再突入したもの
(カプセルの一部)

開発段階で作られたもの

宇宙へ行くものを開発するときには、設計が正しいかを確認するために試験モデルを作ることがあります。いろいろな試験を重ねて、よく確かめてから打上げ本番で使うものを作ります。打上げ後は試験で使ったものや予備の部品が地上に残ります。



連続運転の試験をした
イオンエンジン



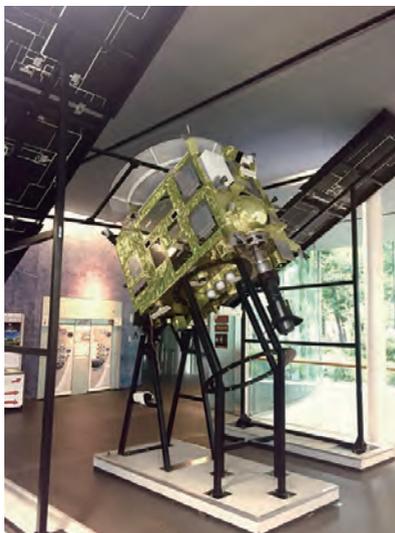
「イカロス」宇宙ヨットの帆（全体の4分の1）



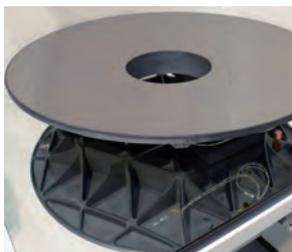
「はやぶさ2」衝突装置



「ひささき」あらせ」ミッション部



「はやぶさ」



「あかり」望遠鏡の鏡

相模原市立博物館

「はやぶさ」と「れいめい」は相模原市立博物館に展示されています。



「れいめい」

打上げロケットの実物

打上げ用に作られ、その後の計画変更で飛ぶことになかった実物もあります。構造や材質がわかります。触れてみましょう。



屋外にある M-V ロケット 2 号機 (上段は模型)



上段は屋内に実物を展示 (衛星は模型です)



ラムダ L-4S ロケット 6 号機の最終段

1970年に打ち上げられた日本初の人工衛星「おおすみ」の予備機といえる 6 号機の球形ロケットを展示しています。(ケース内。模型部分あり。)

研究用の実験機



水平発射実験で使われたペンシルロケット

新しい発想の飛しょう体を研究するために実験用の機体を飛ばす実験が行われています。ペンシルロケットは 1955 年の実験機です。



現在は能代市こども館に展示されています。

エンジン



何度も飛行できる再利用ロケットの実験機



やわらかい大気圏突入機



火星飛行機 (地球で実験中)

実物大の模型 も け い

思ったより大きい？小さい？
実物と同じ大きさの模型です。

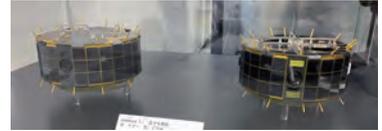


観測ロケット S-520

小惑星探査機
「はやぶさ2」



惑星を観測する小型衛星「ひさき」



小惑星リュウグウの表面で移動探査をした
小型ローバ「イブー」と「アウル」

くらべてみよう

いま／むかし



歴史年表パネル

ロケットの形や大きさをむかしに
さかのぼってみると…

大きさくらべ



大気球グラフィック

絵の前に立ってみると…

フラッシュ オン／オフ



スマートフォンで
ためせます。

「はやぶさ2」実物大模型

着陸の目じるしに
使ったターゲットマークに
光が当たると…

速さくらべ



ハンドルを
まわすと…



太陽系公転模型

見つけた・やった・考えたことメモ

宇宙科学探査交流棟 ご見学者向け解説

申込不要・無料です。開催予定は交流棟のウェブサイトでご確認ください。

展示解説ツアー

解説員が展示の見どころなどをご案内するツアーです。

実験棟見学ツアー

屋内実験場のある宇宙探査実験棟を見学するツアーです。

壁面シアター

館内奥の壁をスクリーンにして数本の映像を投影します。

宇宙科学研究所の行事・イベント



開催予定など詳しくは宇宙科学研究所のウェブサイトでご確認ください。

JAXA 相模原キャンパス特別公開 (年1回)

研究者が実験や展示、講演会など工夫をこらして活動紹介を繰り広げます。

宇宙科学講演 (年1回)

相模原市内の大きな会場にて研究者が最前線の話をお話する講演会です。

宇宙学校

子どもたちが研究者に直接質問をぶつける授業。全国各地で開催しています。

ウェブサイト

宇宙科学探査交流棟

<https://www.isas.jaxa.jp/visit/>

Twitter

@Tenzi_isas1

宇宙科学研究所 (ISAS)

<https://www.isas.jaxa.jp/>

Twitter

@ISAS_JAXA

宇宙探査イノベーションハブ

<https://www.ihub-tansa.jaxa.jp/>

宇宙科学探査交流棟



開館時間 10:00~17:00(16:45最終入館) 休館日はウェブでご確認ください。

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 / 相模原キャンパス 〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1